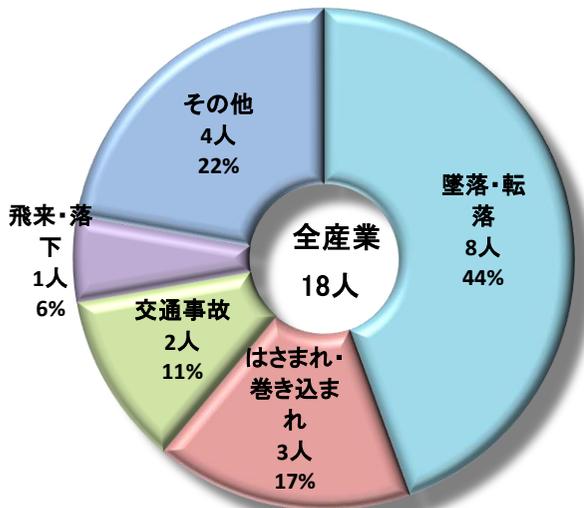
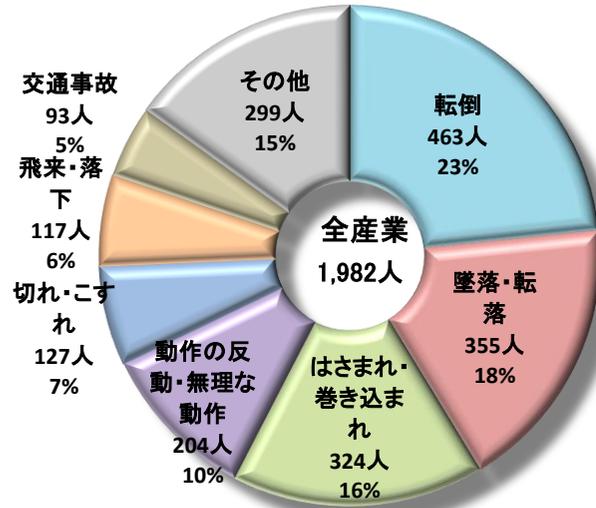


事故の型別にみた労働災害発生状況（全産業）



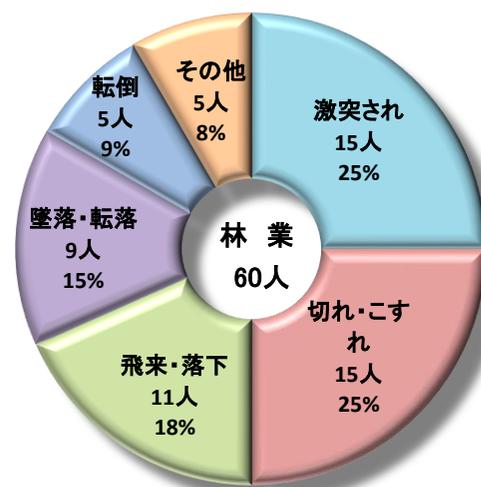
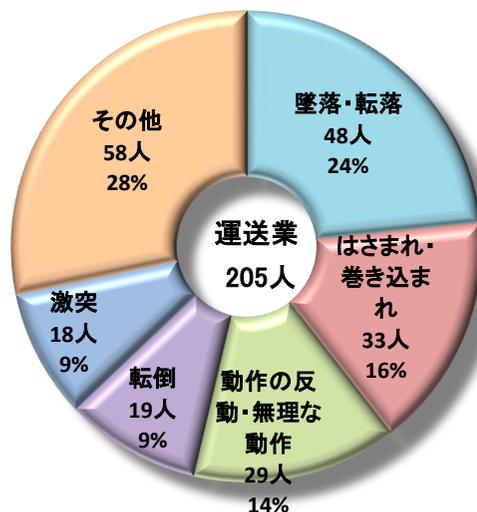
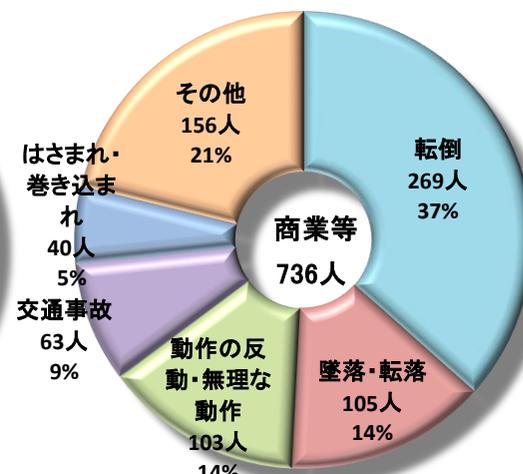
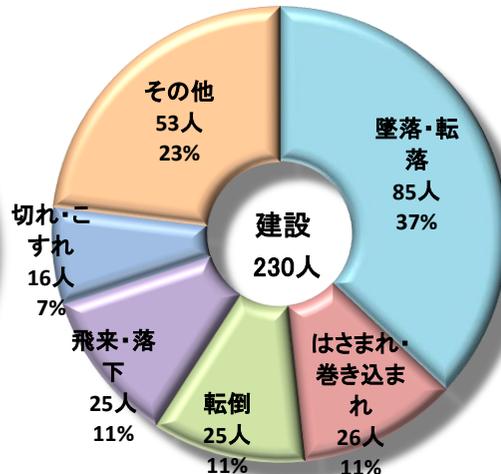
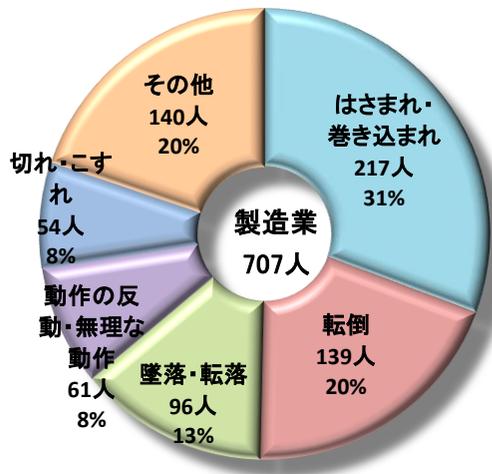
死亡者数



休業4日以上之死傷者数

事故の型別にみた労働災害発生状況（災害多発業種）

製造業では「はさまれ・巻き込まれ」、建設業・運送業では「墜落・転落」、商業等では「転倒」、林業では「激突され」「切れ・こすれ」がそれぞれ高い割合を占めています。



休業4日以上之死傷者数

「事故の型」とは、傷病を受けるもととなった起因物が関係した現象のことをいいます。例えば、機械修理中に手をはさまれた場合は「はさまれ・巻き込まれ」に、足場等の高所から墜落した場合には「墜落・転落」に分類します。分類傾向を見ると、機械設備を日常的に使用する製造業でははさまれ災害が、高所作業が行われる建設業では墜落災害が多いなど、業種別の危険性の特徴が明らかになります。